

桜の里夏祭り

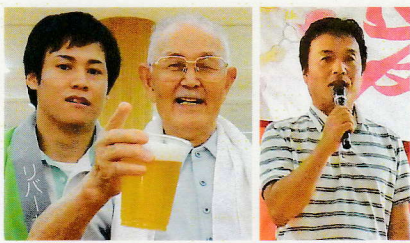


特別養護老人ホーム
桜の里
発行 福江誠二
〒868-0701
球磨郡水上村大字岩野2658-1
電話 0966-44-0770



第七回を迎えた桜の里夏祭り、当日はボランティアの皆様のご協力も頂き職員も一緒に早くから焼きそば、焼き鳥、焼きとうもろこしを焼き始め準備を行いました。スタッフの司会進行によりよいよ祭りは幕を開け、福江施設長、廣瀬水上村長様のご挨拶などの後、ボランティアの皆様による水上「プアリリー」のフラダンスやさくら組とSAKURA娘のダンス、豪華な景品の抽選会、最後には参加の皆様と職員による「桜音頭」の総踊りで盛会のうちに夏祭りが終わりました。

夏の終わりの地域の風物詩として、来年も多くのお客様をお迎えして祭りがおこなわれることを職員一同願っております。



理念

信頼

私たちは利用者の方、ご家族の皆様にご信頼される安全で質の高い介護を提供いたします。

尊重

利用者の皆様の人格を尊重し、常に相手の立場に立って快適な生活が過ごされるよう努力します。

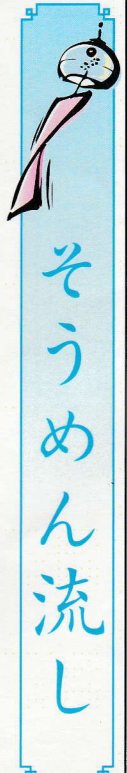
真心

家庭的で明るい心こもった環境づくりに努力します。

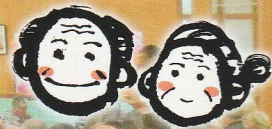


七月二十日に毎夏恒例のそうめん流しを皆様楽しみました。次々と流れてくるそうめんを利用者の皆様は器用にすくって食べておられました。楽しい雰囲気の中では皆様いつもよりたくさん召し上がられました。

季節を感じる行事は利用者の皆様にとって心にも身体にも良いようです。



平成23年度敬老会



九月十九日は敬老の日、桜の里敬老会は、多くのご家族もお迎えして開催されました。

施設長のお祝いの言葉の後、古希から百二賀までの19名の方々の賀寿をお祝いし、記念品を贈呈しました。その後は、「ボランティア団体「藤扇裕晃会」の皆様の歌や踊りでお祝いました。会の終わりにには利用者代表を代表され、卒寿を迎えられた池井リツ様からお礼の言葉も頂戴して今年の敬老会も盛会のうちに閉会しました。

毎年敬老の日を中心とした敬老週間には私たち高齢者福祉を担わせていただく者にとって、人生の大先輩方への感謝の気持ちがあらためて湧いてくるのを感じます。(右下写真は百歳以上のご利用者、左から尾前光次郎様101歳、松崎ミチ様102歳、甲斐一二様101歳のお祝いの模様です。)



球磨郡介護福祉施設パチンコ大会 (九月六日)

毎年恒例の球磨郡内介護福祉施設パチンコ大会が、銀馬車パレオ多良木店において行われました。桜の里からは選り抜かれた精鋭15名が参加され、昔取った杵柄をいかなく発揮され、用意された景品(参加賞?)をたくさんいただいで帰って来られました。付き添った職員のストレスも解消されたのでは・・・。



ボランティアの皆様ありがとうございました。

芳野とゆかいな仲間達

あさぎり町の上杉芳野さんを中心としたボランティアグループで、楽しい歌や踊りを元気いっぱい披露してくださいました。途中では職員も加わり「どうにも止まらない」盛り上がりでした。(7月22日)



水上中学校

夏休み中の水上中学校から8名の生徒さんが桜の里体験学習に訪れました。車椅子の清掃などを手伝って頂いた後、利用者の皆様と明るく触れ合ってくれました。(8月11日)



川内松寿老人会

水上村川内松寿老人会の皆様により施設周囲の除草作業をしていただきました。まだまだ残暑厳しい9月10日でしたが、おかげさまで見違えるような環境になりました。そして草刈りをしていただいた斜面一面に美しい彼岸花が咲き誇り道行く人を楽しませています。



糸田先生御夫妻の音楽会

糸田先生御夫妻(多良木町)による音楽会は、利用者が待ち望む毎月の恒例行事となっています。(6月23日、7月25日、8月25日、9月26日・毎月1回)



覚高老人クラブ

早朝から施設の窓ふきを行って頂きました。その後、在宅介護の実技について熱心に研修を受けられました。地域の老人会の皆様、ありがとうございます。(9月29日)



水上村シルバーヘルパーの方々30名が朝から桜の里内の環境整備を行って頂きました。そのあとはシルバーヘルパーの講習を園内で受けられ、車いすの操作の仕方や注意点、介護が必要な高齢者をベッドから車いすへ安全に、また、介護する者に負担がかからない介護の基本を皆様とても熱心に体験されました。高齢者介護を自宅でも安心して行って頂くよう今後もこのような講習会などをご希望に応じていつでも行いますのでお気軽にご相談ください。

水上村
シルバーヘルパー講習会

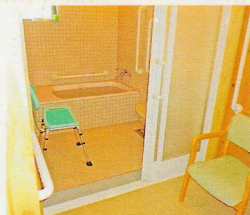
事業所
紹介

“グループホーム桜の里” 地域に密着した「わが家」です!

平成20年6月にオープンした「グループホーム桜の里」。22年10月には2ユニット目となる「西の家」もオープンし、合計18名の利用者を受け入れることのできるホーム(家)となりました。

「高齢者が長年住み慣れたわが家の延長」として、お部屋には利用者の方が長年使い慣れた家具や調度品、電化製品などが利用者の好みにおいて置かれています。高齢者と職員との「共同生活」の場を提供する桜の里では、高齢者自らの意思に基づいた生活継続のための支援を行い、趣味や特技などを活かした毎日を職員と共に送っていただいております。さらに、桜の里の地域交流スペースに出かけレクリエーションや趣味の囲碁などを毎日楽しめる利用者もいらっしゃいます。

現在は18名の入居者が生活を送っておられます。(認知症と診断された要支援、要介護高齢者の方及び家族の方はお気軽に桜の里までご相談ください。)



新入職員紹介

平成23年6月以降入社
の職員を紹介いたします。



坂田 滋郎
さかた しろう

年齢は25歳です。前職は農業関係の仕事でした。初めての介護の仕事なのでいろいろと先輩方やご利用者に教わりながら頑張りたいです。



豊永 清佳
とよなが きよか

以前、祖母が桜の里に入所していました。その西町で自分がスタッフとして仕事をすることに不思議な縁を感じ、ますます頑張ろうと思いました。



信國 隆宏
のぶくに たかひろ

年齢は34歳で、コンピュータ関係の仕事から転職しました。何か人の役に立ちたいとこの仕事を選びました。末長くよろしくお願い致します。



有瀬 秀明
ありせ ひであき

年齢は30歳です。これまで家業である農業の手伝いをしてきました。初めて介護の世界に入り奥の深さを感じています。ご指導をお願い致します。

編集部より

長雨と猛暑の夏がようやく過ぎ去り、稲の穂も黄金色に色づく季節になりました。

桜の里では夏の終わり恒例の夏祭りも盛会のうちに終えることができました。九月には敬老週間を中心として高齢者施設パチンコ大会、桜の里敬老会を催し、地域の皆様に絶大な支援を頂きました。

桜の里では今後とも地域から頂いたご支援に対し、今号で掲載いたしましたような講習会等を開催することにより、地域に貢献して参りたいと思っておりますので、皆様のご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。